

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '生活困窮者の自立支援' and '生活困窮者の自立支援'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about support for vulnerable households.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) across years 26-30.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人員費) for 26-30 years.

Table showing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) with a total row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 years, including a list of activities like '市長マニフェスト'.

| | | | | | |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 生活保護事業(訪問・指導) | 事務事業No. | 20502000513 | 所属課 | 社会福祉課 |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|---|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和25年に現行の生活保護法が施行され、市制施行により県から事務移管されたことによる。 桜川市では平成21年度上半期までは横ばい状態で推移してきたが、経済情勢の悪化や社会構造の変化による要因があり、保護世帯は増加している。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 雇用情勢が厳しい中で、生活保護世帯の増加や保護費の減額等がマスコミでも取り上げられていることから、議会や一般市民からも桜川市の動向に関心が寄せられている。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

| | |
|-----------|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生活保護法に基づくものであり、「社会福祉の推進」施策に結びついている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 生活保護法で市が事業を実施することが義務付けられており妥当である。 |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 昨今の経済情勢により雇用先も少なく、自立を促す対象者も少ないため、自立助長は難しい現状にある。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 生活保護法による事務事業のため、廃止・休止は憲法第25条及び生活保護法の趣旨に反す。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない なし |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 生活保護法に基づく制度で定められているため削減できない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 生活困窮者を対象として必要な保護を行うものであり、適正である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|-----|-----|----|--|----|----|----|----|----|--|--|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | |
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | 世帯への訪問の際には、医療扶助削減のため、後発医薬品のパンフレットを配布し、使用促進を図った。今年度も継続して後発医薬品の使用を勧めたい。また、医療機関への訪問では、稼働年齢層とされる65歳未満の者を中心に病状調査をおこない、就労支援等の検討をおこなった。 | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 | <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 成果 | 向上 | コスト | | | 維持 | 削減 | 維持 | 増加 | 低下 | | | |
| 成果 | 向上 | | コスト | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果優先度評価結果 ③ | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト削減優先度評価結果 ⑨ | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |